

新刊図書FAXご注文書 (03-3400-6017)

日本慢性期医療協会 編集

在宅医療認定医講座テキスト

ISBN978-4-903368-22-1 B5判・344ページ
編者：日本慢性期医療協会
定価 本体3,400円＋税



◇本書の特長（「はじめに」より）

在宅医療の実践は、在宅療養に関することだけを知っていればよいのではなく、急変や急性増悪に対応し、急性期病院、慢性期病院との連携をとるためにも、入院医療についても学ぶ必要がある。逆に、急性期病院、慢性期病院の医師も在宅医療を学び、よりスムーズに連携できるように努めていく必要がある。それぞれの診療機能を持つ医師が独善的な理念で治療するのではなく、一人ひとりの患者を診るチームとして治療を進めていかなければならない。

当会は、「良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない」をスローガンに掲げており、その一環として平成24年9月に「第1回在宅医療認定医講座」をスタートさせた。在宅医療の専門家の必要性が強く求められる時代はそこまで来ており、本テキストがその一助となることを期待している。

日本慢性期医療協会会長 武久洋三



厚生科学研究所

〒107-0061

東京都港区北青山3-8-3

(振替00190-2-106950)

TEL.03-3400-6070/FAX.03-3400-6017

施設名	ご担当者名
送付先 ご住所	〒 電話 () / FAX () E-mail
注文冊数	冊
会員種別	①日本慢性期医療協会会員 (送料サービス) ・ ②非会員 (送料別)

在宅医療認定医講座テキスト

■内容構成

はじめに

第1章 これからの在宅医療の方向性

1. これからの在宅医療政策 日本慢性期医療協会会長、医療法人平成博愛会 博愛記念病院理事長 **武久洋三**
2. 地域包括ケアシステムを支える慢性期医療の役割 慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授 **田中 滋**
3. 望ましい医療・介護体制と在宅政策 国立長寿医療研究センター総長 **大島伸一**
4. 在宅医療を支える地域医療システムの構築—慢性期医療への期待— 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授 **辻 哲夫**
5. 在宅ケア重視への注力 兵庫県立大学大学院経営研究科教授 **小山秀夫**
6. 今後の在宅医療の方向性 全国在宅療養支援診療所連絡会会長 **新田國夫**

第2章 在宅医療と地域連携

1. 在宅医療推進の必要性と方向性～連携について～ 国立長寿医療研究センター病院長 **鳥羽研二**
2. 在宅医療における総合機能評価と疾病管理 医療法人社団青優会 南小樽病院院長 **矢野 諭**
3. 在宅医療と地域連携 医療法人恵泉会 浜寺中央病院院長 **井川誠一郎**
4. 在宅医療を支えるための医師と訪問看護の連携 前衆議院議員、元日本看護協会常任理事 **山崎摩耶**
5. 在宅療養支援病院の実際 医療法人池慶会 池端病院理事長・院長 **池端幸彦**

第3章 在宅医療の実際 part 1

1. 在宅療養支援診療所の医療の実際 医療法人社団いばらき会 いばらき診療所理事長 **照沼秀也**
2. 在宅療養支援診療所の医療の実際～皮膚疾患の管理～ 医療法人社団いばらき会 いばらき診療所医師 **田口佳代子**
3. 在宅医療現場における骨折治療 医療法人社団いばらき会 いばらき診療所みと院長 **丸山善治郎**
4. 神経難病患者に対する在宅医療のあり方 公益財団法人脳血管研究所附属 美原記念病院院長 **美原 盤**
5. 在宅医療における口腔管理 大生病院歯科・歯科口腔外科部長 **阪口英夫**
6. 脳卒中疾患パスのリハビリテーション 医療法人平成博愛会 世田谷記念病院副院長、回復期リハビリテーションセンター長 **酒向正春**
7. 在宅医療における訪問リハビリテーションの実際 医療法人財団慈強会 松山リハビリテーション病院院長 **木戸保秀**

第4章 在宅医療の実際 part 2

1. 在宅医療における薬物療法 東京大学大学院医学系研究科加齢医学准教授 **秋下雅弘**
2. 在宅医療の診察のポイント（ワークショップ） 医療法人恵泉会 浜寺中央病院院長 **井川誠一郎**
3. 在宅における発熱の管理と変容する在宅医療 医療法人社団裕和会 長尾クリニック理事長 **長尾和宏**
4. 経管を含む栄養管理 医療法人社団裕和会 長尾クリニック理事長 **長尾和宏**
5. 在宅における緩和ケア—麻薬の管理など— 医療法人社団裕和会 長尾クリニック理事長 **長尾和宏**
6. 終末期医療 医療法人社団裕和会 長尾クリニック理事長 **長尾和宏**